

「森の恵みの地産品」の販売につきまして

弊協会では、かねてよりフォレストック認定を取得された地域に対して、地域の政策と連携したフォレストック CO2 吸収量クレジットの活用をお勧めしています。この度四つの地域における具体的な事例をエコプロダクツ 2012 展にてご紹介させていただくこととなりました。

これは、「森林から多くの恵みを受けた地産品」にフォレストック認定制度から生まれる CO2 吸収量クレジットを付加して販売することで、恩恵の源である森林に整備費用を還元する仕組みです。

数多くの自治体において、農林水産業の振興、産業の育成、観光振興、さらにはこれらを通じた地域のブランディング化の必要性が謳われていますが、森林はその根幹に位置します。林業の振興は言うまでもなく、森林が涵養する良質な水が不可欠な農業および、「魚つきの森」が育むプランクトンが重要な漁業にも森林整備は欠かせません。また、林業はすそ野の広い木材関係産業の起点になります。各地のかけがえのない観光資源も森林が守ってくれています。

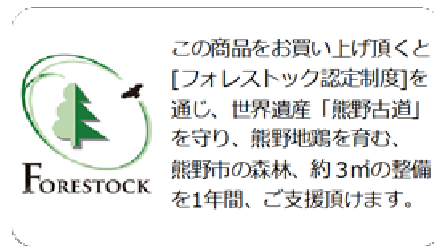
これら、いわば「森の恵みの地産品」に森林から生まれる新しい価値である CO2 吸収量クレジットを付加して販売する手法により、「森林を保全することの大切さ」が、地域内はもとより、全国に広まり、地産品のブランディング強化・販売増につながり、クレジットの販売収益が森林に還元されることで、保全が持続していきます。

域内における CO2 吸収量クレジットの活用は地域の皆さんに、手軽で継続的な社会貢献・まちづくりへの参画機会を提供することにもなります。日々の生活において「地域の森林を守る」商品やサービスを選択して頂くだけでよいのです。この参画は、数多くの地方自治体が政策に掲げる「協働」にほかなりません。クレジットの金額を実際にご負担される企業や事業所の皆さんにとっても、「地域の森林を守る」と謳えることで販売増につながり、収益が拡大することが期待されます。

以下の四つの地域では、手始めに、エコプロダクツ 2012 展の弊協会ブースにおいて、「森の恵みの地産品」販売を開始されますが、会期後は、それぞれ、オンラインショップなどで、この仕組みをご継続拡大頂く予定です。随時、弊協会でもその様子をホームページやフェイスブックページなどを通してご紹介してまいります。

なお、今回、エコプロダクツ展での販売については、場所などの制約から、数に限りがあります。売り切れの節はご容赦いただき、オンラインショップなどでの販売開始をお待ち下さい。

※ 以下、フォレストック認定制度による、CO2 吸収量クレジット付き地産品販売の開始を決定された順に掲載しています。



三重県熊野市・紀和町ふるさと公社様

【熊野市の森林／世界遺産の町 熊野・森を育て神話の森から未来につなぐ森 からの恵み】

www.kiwa-furusato.com

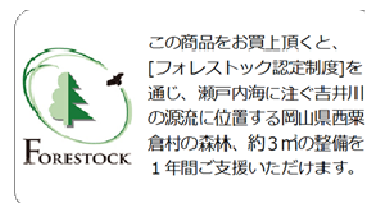
熊野市の森は、まさに「世界遺産・熊野古道」を守っていますが、さらに数多くの恵みを地域にもたらしています。その代表が、三重県の県産品ブランドにも選ばれている熊野地鶏です。熊野地鶏飼育場は、近くに世界遺産熊野古道や貴重な文化遺産である丸山千枚田（棚田百選）などがあり、緑豊かな山々など自然に抱かれた場所にあります。この豊かな自然と世界遺産をも育む地で、熊野地鶏は愛情たっぷりに飼育されています。熊野古道「通り峠」の谷水から取水し、砂でゆっくりとろ過したきれいでおいしい水が与えられています。この熊野地鶏の売り上げの一部がその恵みの源、熊野市の森林に還元されます。

熊野市様では、こうしたフォレストック認定制度の活用により地域活性化を目指す方針を同市のホームページにて、河上市長様が表明なされています。

<http://www.city.kumano.mie.jp/> （トップページ、トピックスの項）

このたびは、エコプロダクツ展会場での販売という設備的な制約があることから、販売は以下の冷凍商品パックに限定されますが、同時に受け付けられている、お歳暮の通販のなかの熊野地鶏商品にも、CO2 吸収量クレジットが付加されます。

熊野地鶏	焼き鳥串 5 本入り	950 円
熊野地鶏	極旨つくね	400 円
熊野地鶏	極旨ソーセージ	680 円



岡山県西粟倉村・森の学校様

【西粟倉村山林／西粟倉の未来を紡ぐ森林 からの恵み】

www.nishihour.jp

森の学校様によるニシアワーは、人口約 1,600 人の岡山県西粟倉村で生み出される資源から製品をつくり、みなさんにお届けするプロジェクトです。すぎやひのきの間伐材から作られる無垢の床「ユカハリ」や、無垢の木で出来た家具の製造販売。山に増えすぎてしまった鹿肉でのバーベキューや、源流の水からつくられる「メダカ米」などの米や地元で採れた農産品の販売など、地域資源の循環的な利用を目指す取り組みです。ニシアワーのマークの入った商品は、岡山県西粟倉村産の間伐材や農産品などからつくられています。地域資源から価値を生み出しお客さまにお

届けすることで森が元気になり、生き物たちの賑わいを取り戻し、西栗倉村の雇用の増加にも繋がっています。

今回は、数多い商品ラインアップのなかから、メッセージ性の高い、下記の商品の売上の一部が、西栗倉村の森林保全の支援に充てられます。木材製品の消費が森を元気にする。非常にわかりやすい事例です。今回対象とされるのは以下の商品です。

- ・ピンバッジ 500 円
- ・名刺入れ 4,980 円
- ・モクタイ 14,800 円
- ・ワリバシ10膳入り(箸袋付き) 200 円
- ・ワリバシ20膳入り(箸袋無) 260 円

また、ニシアワーは、文祥堂様の「ニッポン木環プロジェクト」にもコラボされており、床材など西栗倉村産のオフィス家具・内装品が採用されると、売上の一部が、フォレストック認定制度を通じて、西栗倉村の森林に還元されます。これは主に B2B（企業対企業）の分野における「森の恵みの地産品」活用事例になります。今回のエコプロダクツ展におきましては、新しい建築素材、タイルカーペットのように施工できる木製床タイル「ユカハリ・タイル コグチ」を弊協会ブースの一部にご提供いただいています。

<http://www.bunshodo.co.jp/kikan/>



岩手県葛巻町・くずまきワイン様

【[葛巻町森林組合の管理森林](#)／森林資源の循環利用と持続可能な森林「くずまき高原の森」からの恵み】

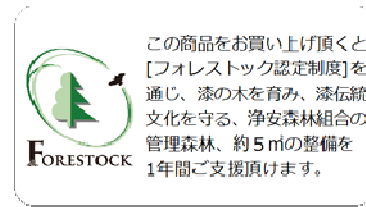
www.kuzumakiwine.com

葛巻町は、自生の山ぶどうを活用した山ぶどうワインやジュースといった特産品の開発を行い、県内はもとより、首都圏などでも多くの顧客を獲得しています。いち早く6次産業化に向けた取り組みにより、産業振興による経済活性化及び雇用創出の実績をあげていますが、これは豊かな地域資源である森林を守り、活用してきたおかげでもあります。すでに首都圏でも知られている「くずまきワイン」ですが、この森林とのコラボにより、さらに全国区の地産品に成長していくことが期待されます。

今回、出展されるのは以下の商品です。このうち、ワインは販売許可が必要なことから、サンプルの展示になります。（通販のお申込みは会場で受け付けます）。

ワイン	①山ぶどうワイン	720ml	小売価格（税込）	3,150円
	②フォーレ（赤）	720ml		1,575円
	③ナドーレ（赤）	720ml		1,050円
	④ゆい	720ml		1,365円
	⑤澤登ブラックペガール	720ml		1,575円

⑥山ぶどうブランデー 200ml	2,100円
ジュース ①山ぶどう原液720ml	小売価格(税込) 2,625円
②山ぶどうジュース720ml	1,575円



岩手県浄安地方・浄法寺漆産業

【[浄安森林組合の管理森林](#) / 漆伝統文化を守る森 からの恵み】

www.japanjoboji.com

国産漆は、良質なことで知られており、日本の代表的な文化財の修復に使用されるなど、重要な役割を果たしていますが外国産との価格の違いなどから、国内全体の流通量の95%以上を、中国産をはじめとした輸入漆が占め、国産漆が市場に占める割合はごくわずかとなっています。その貴重な国産漆を守っているのがこの浄安森林組合の森林です。平成19年からは世界遺産でもある日光二社一寺（二荒山神社、東照宮、輪王寺）の修理修復に「浄法寺漆」が使われています。これもまた、「世界遺産を守る森」とも言えます。浄法寺漆産業様は、この伝統を守るために、優れた素材・技術で創られた漆器の販売を手掛けられています。今回はその中でも、手ごろにお求めいただける下記の商品の売上の一部が、浄安地方の森林保全の支援に充てられ、urushi=japan 文化の継承につながります。

生漆チューブ20グラム	2,500円
盃	4,660円
小鉢	5,800円
塗箸	3,330円
	(18センチは2,860円)
絵付け塗箸	4,200円

宮城県登米市・お米など

【[登米市の森林](#) / 豊饒の大地を育み、人や環境にやさしい農業を支える森林 からの恵み】

<http://www.city.tome.miyagi.jp/kankou/top.html>

登米市は12月1日にフォレストック認定を取得されたばかりで、制度を活用した地産品販売はこれからになりますが、今回、エコプロダクツ展において、「大地の恵み」であるお米（環境保全米ひとめぼれ真空5合パック）を大量にご提供頂きます。市の総合政策でも謳われている「大地の恵みと人の技を生かした活力あるまちづくり」の大地の恵みとは、森林をはじめとした豊富な地域資源のことを意味し、これらを活用して、農業をはじめ林業や商業、工業、観光等多様な産業の振興を図られています。登米市は、「水の里」とも呼ばれる、水資源に恵まれた地域ですが、その多くは、森林の水源涵養機能によるものです。この豊富で良質な「水」によって名産のお米は育てられています。この好循環を持続するために、お米の売上の一部が森林保全に向かう仕組みの導入が期待されます。